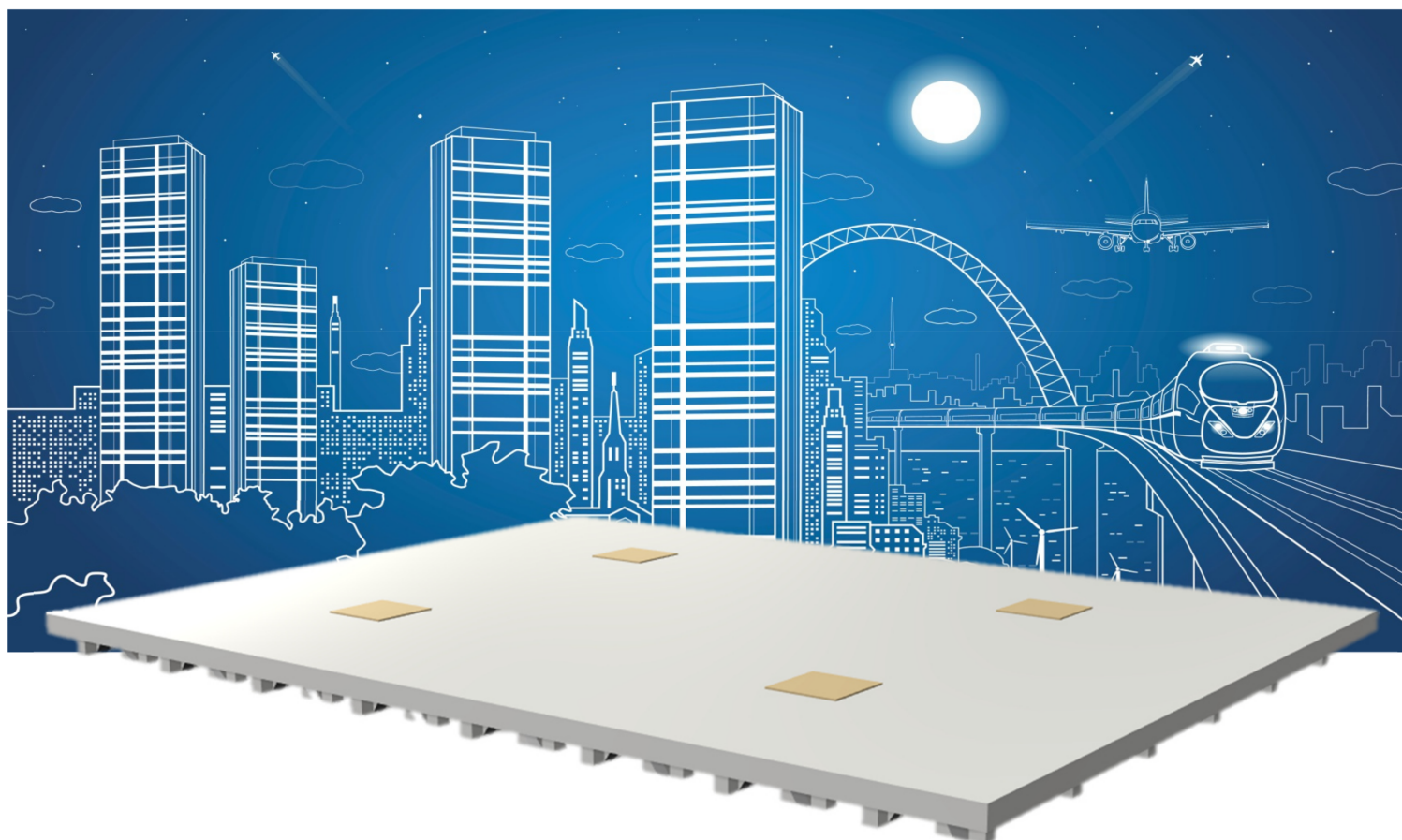


SVブロック

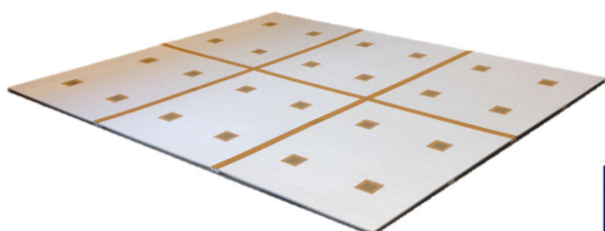
湧水処理仕様 耐水型発泡浮床防振材



昭和サイエンスの特殊防振ゴムとミラブロック®リブタイプとを組み合わせることにより50mm厚の湧水処理仕様の耐水型発泡浮床防振材になりました。

ミラブロック®リブタイプは半硬質フォームで適度の柔軟性と弾性を有し、表面が平滑で碎けにくいので、切り屑が出にくく作業場所が綺麗に保てます。また耐油、耐薬品性に優れます。

ノロ対策は布ガムテープだけでOK、ポリエチレンフィルムは要りません。



株式会社 昭和サイエンス

SHOWA SCIENCE CO.,LTD.

湧水処理仕様 耐水型発泡浮床防振材 SVブロック

グラスウールなどの繊維系材料に替わる湿式浮床緩衝材

SVブロックは昭和サイエンスが開発した特殊防振ゴムとミラブロック®リブタイプとを組み合わせた湧水処理仕様の耐水型発泡浮床防振材で、優れた防音・防振性能を有します。

湿式浮床工法に広く用いられているグラスウールなどの繊維系材料の性能面の問題点（含水すると防振性能が劣化する等）を解決します。

特長

●湧水処理仕様

SVブロックは床側リブ構造で多くの空間を有し、湧水処理能力に優れます。全て標準品が湧水処理仕様です。

●優れた施工性

壁等に立上材をセットし、SVブロックを床に敷き、ノ口対策として継目及び端部に布ガムテープ等を貼り付けるだけ。マット工法で通常敷設するポリエチレンフィルムは不要です。また切屑が出にくいいため、作業環境を綺麗に保ちます。

注)浮床コンクリートの厚さが180mm以上の場合は、荷重分散用ボードを敷設してください。

●幅広い荷重条件をカバー

特殊防振ゴムの組み合わせにより3種類の品揃え、最大2,400kg/m²の荷重をカバーします。

●優れた防振・防音性能

f n : 固有振動数(Hz)	15Hz 程度 (搭載荷重 500kg/m ² ~ 2,400kg/m ² の場合)
軽量床衝撃音低減性能	ΔLL-4等級
重量床衝撃音低減性能	ΔLH-4等級

●高い信頼性、安全性

特殊防振ゴムが長期的床沈下に対応し優れた耐クリープ性能を有します。

グラスウールなどの繊維系緩衝材のように繊維が発散して皮膚、目などのかゆみが発生することはありません。

基本構造

ミラブロック®リブタイプ

ポリオレフィン樹脂を原材料とした独立気泡の26倍発泡プラスチック（ビーズ法架橋ポリエチレンフォーム）で、強靱で繰り返し使用にもへたりが無く、適度の柔軟性と弾性を有する半硬質フォームです。碎けにくく切り屑がほとんど出ません。

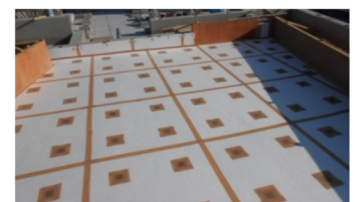
また発泡ポリスチレンに比べ耐油、耐薬品性に優れます。製造元は(株)J S Pです。

特殊防振ゴム

下部が逆錘台状の角型防振ゴムで、線形なばね特性を有し、荷重が変化しても固有振動数を低く抑え、優れた防振効果を生み出します。

用途

集合住宅	設備機器室	機械式駐車場	電気室
ホテル	エントランス	共用廊下	屋上
複合ビル	バルコニー	ポンプ室	ホール
商業施設	劇場	映画館	厨房
公共施設	駐輪場	レストラン	ウッドデッキ
	運動施設	遊戯施設	プール



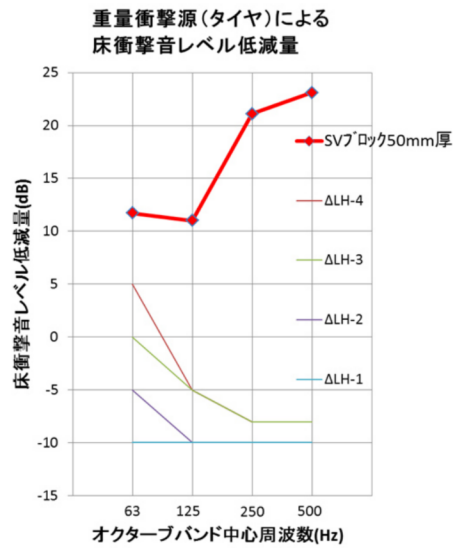
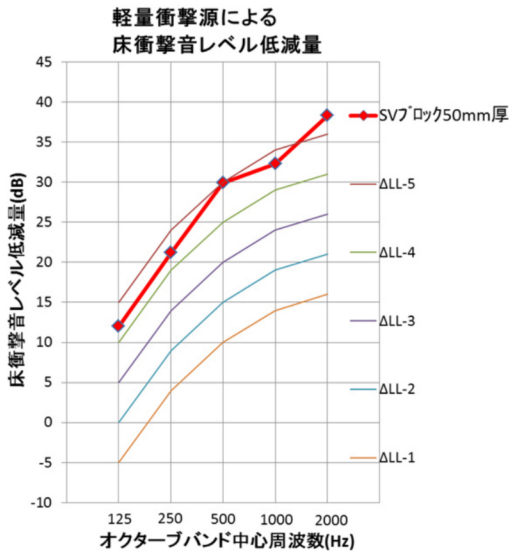
設備機器室



機械式駐車場

防音性能（床衝撃音遮断性能）

JIS A 1440-1附属書JC及びJIS A 1440-2 附属書Cに規定する壁式構造によるコンクリート製標準床(厚さ200mm)の所定の位置にSVブロックを設置し、上部の押さえコンクリートとして寸法2.2m x 2.7mで、厚さは150mmの鉄筋コンクリート製パネルを用いたコンクリート浮床構造にて、JIS A 1440-1「実験室におけるコンクリート床上の床仕上げ構造の床衝撃音レベル低減量の測定方法-第1部：標準軽量衝撃源による方法」及びJIS A 1440-2「同-第2部：標準重量衝撃源による方法」に基づいて測定を行いました。

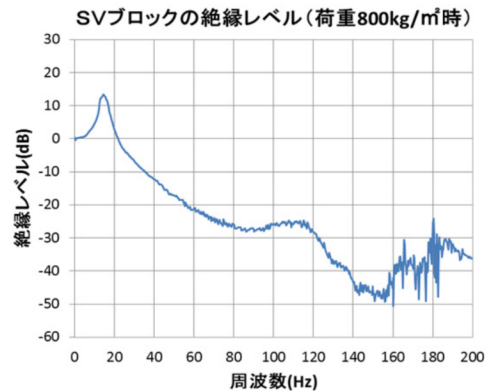


※ΔL等級とは「床材の床衝撃音低減性能の表現方法に関する検討委員会報告書」（平成20年3月（財）日本建築総合試験所）に基づいた評価方法による二重床などが床衝撃音をどれほど低減するかを表す新しい等級です。

防振性能

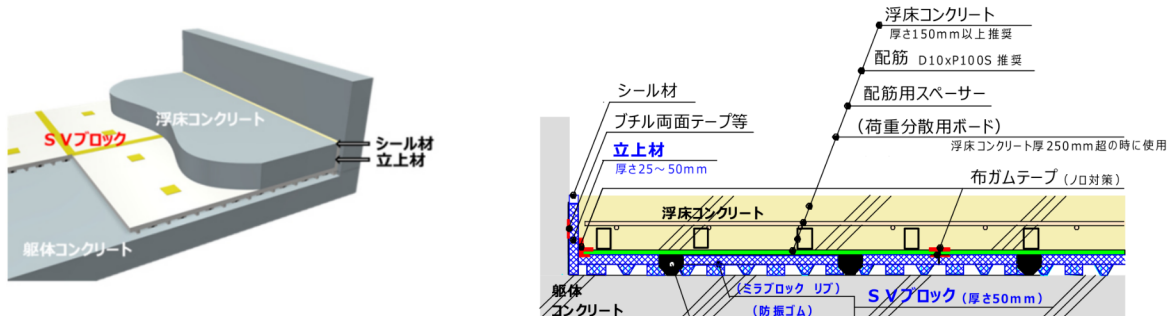
固体音対策には防振施工が有効です。SVブロックは許容搭載荷重により3種類の品揃えになっております。500kg/m² ~ 2,400kg/m²の搭載荷重を f_n : 固有振動数(Hz) 約15Hz程度にて支持します。

※本カタログに記載の数値は一定の条件による測定結果であり、SVブロックの性能を保証するものではありません。



施工参考図

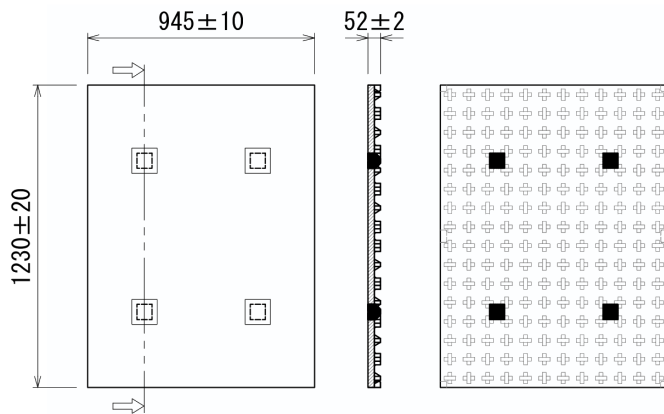
壁等に立上材をセットし、SVブロックを床に敷きます。あとはコンクリート流入防止のため、継ぎ目や端部との取合いに布ガムテープ等を貼り付けるだけでOKです。ポリエチレンフィルムは不要です。全て標準品が湧水処理仕様となります。



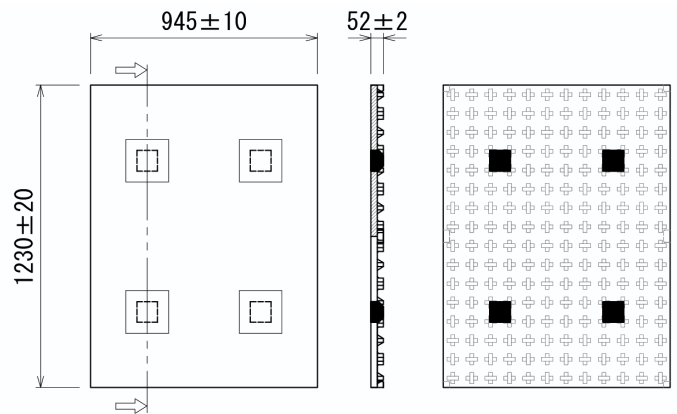
設計施工上の留意点

- SVブロックの継ぎ目や端部との取合いは布ガムテープ等で必ず目貼りし、コンクリートの流入等を防いでください。
- 立上り部（立上材の天端）は必ず柔軟なシーリング等で縁を切るようにしてください。
- 浮床コンクリートの厚さが180mm（浮床コンクリートの重量が450kg/m²）を越える場合は、SVブロックの上面に荷重分散用ボードを敷き、継ぎ目や端部との取合いに布ガムテープ等で目貼りし、コンクリートの流入等を防いでください。
- SVブロックのご採用に際しては設計者・施工者等の承認をお願い致します。

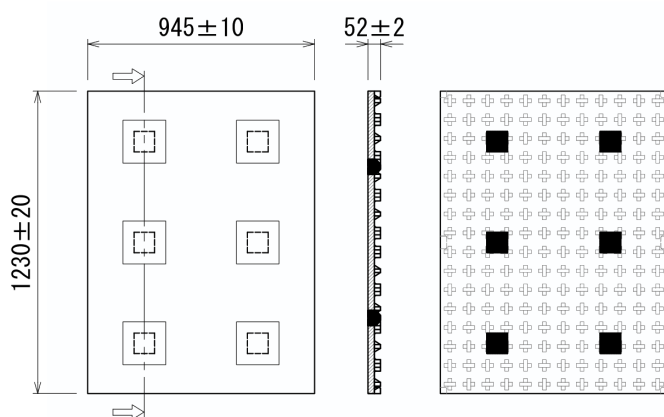
S Vブロックの仕様



SV-50-800



SV-50-1600



SV-50-2400

S Vブロック型名	許容搭載荷重	1枚当りの重量
SV-50-800	800kg/m ²	2kg
SV-50-1600	1,600kg/m ²	3kg
SV-50-2400	2,400kg/m ²	4kg

※全製品湧水処理仕様です。

※梱包単位は6枚です。

※ミラブロックリブタイプの寸法は製品の特性上、温度等によって変化します。



取扱い上の注意

- 火気 ミラブロック® リブタイプは可燃物です。
製品に火源（焚火・溶接火花等）が接触しないようご注意ください。
- 高温 高温になると樹脂が軟化しますので70℃以下でご使用下さい。
- 強風注意 軽量で取扱いが容易な反面、風にもあおられやすいので強風下での作業は行わないで下さい。
- 廃棄する際の注意 廃棄する際には、各地域の廃棄物処理指針に従って処理して下さい。

※注意事項に関しては、一般的取扱いを対象としたものです。詳細は下記連絡先までお問合わせ下さい。



安全に関するご注意

ご使用前に施工要領をお読みの上、正しくお使い下さい。



株式会社 昭和サイエンス

本 社 〒210-0024
神奈川県川崎市川崎区日進町1-14 JMFビル川崎01 2F
TEL(044)223-0571 FAX(044)223-0577

大阪営業所 〒550-0013
大阪府大阪市西区新町1丁目6番22号 新町新興産ビル
TEL (06)7661-2608 FAX (06)7661-2576

ホームページアドレス <http://www.ssvi.co.jp>